

LIXIL

アクアフィール

JP-7A2

取扱説明書

このたびは、当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みの上正しくお使いください。

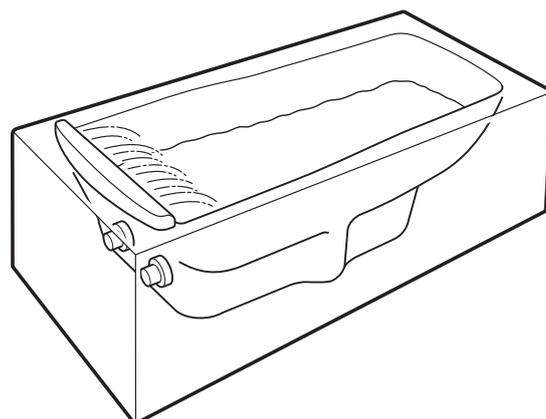
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

* 転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

* 浴槽浄化保温機（24時間パス）に該当する機器は使用しないでください。

取付業者の皆様へ
この取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください。



もくじ

特長	1
各部のなまえ	3
安全上のご注意	4
使用時のご注意	7
ご使用方法	9
お手入れ方法	11
故障かな?と思ったら	14
アフターサービスについて	16
交換部品のご案内	18
仕様	裏表紙

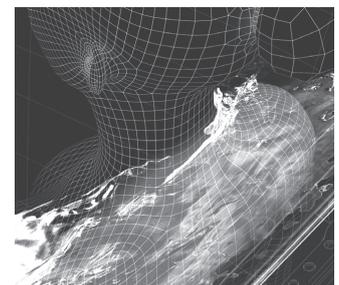
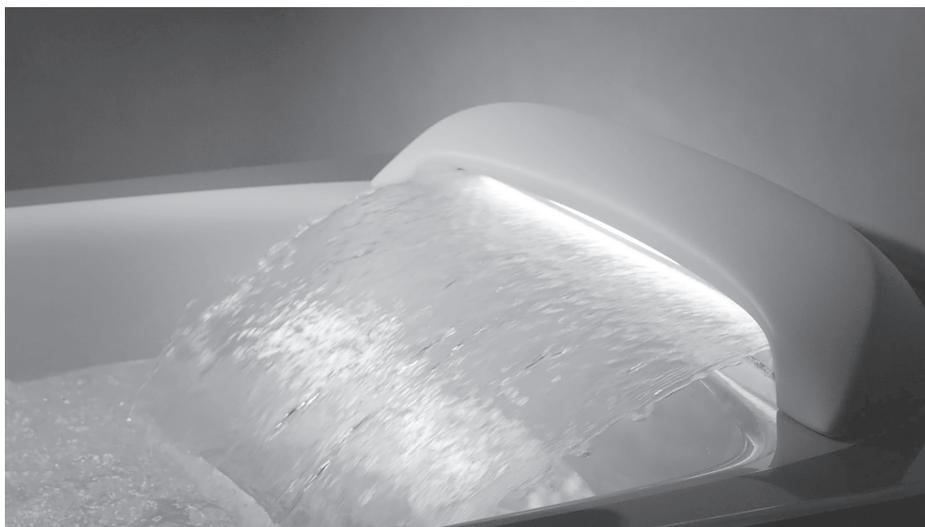
特長

アクアフィールでは「肩湯」、「肩ほぐし湯」、「腰ほぐし湯」の3つのモードをお楽しみいただけます。



「肩湯」モード

肌をなでるお湯で、やさしく身体をあたためます。
極上のリラックスが味わえ、日々の活力を高めます。



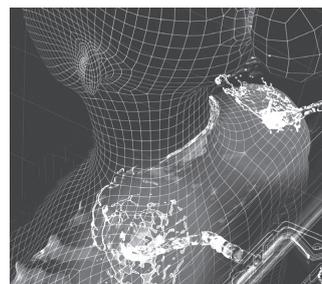
肩まわりの吐水
(イメージ)

● 吐水口 (大) から吐水します。

※「肩湯」は株式会社 LIXIL の登録商標です。

「肩ほぐし湯」モード

心地よいお湯のベールとともに、ウエーブ状の水流を吐水します。
リズムカルでほどよい刺激で、首や肩まわりをやさしくほぐします。

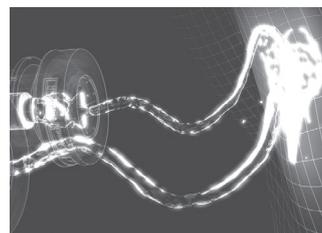


肩まわり(ウエーブ状)の吐水 (イメージ)

- 吐水口 (大) と吐水口 (小) から同時吐水します。

「腰ほぐし湯」モード

腰まわりをほぐすような、心地よい刺激を与えます。
あてたいところにジャストフィットする、マッサージ感が味わえます。



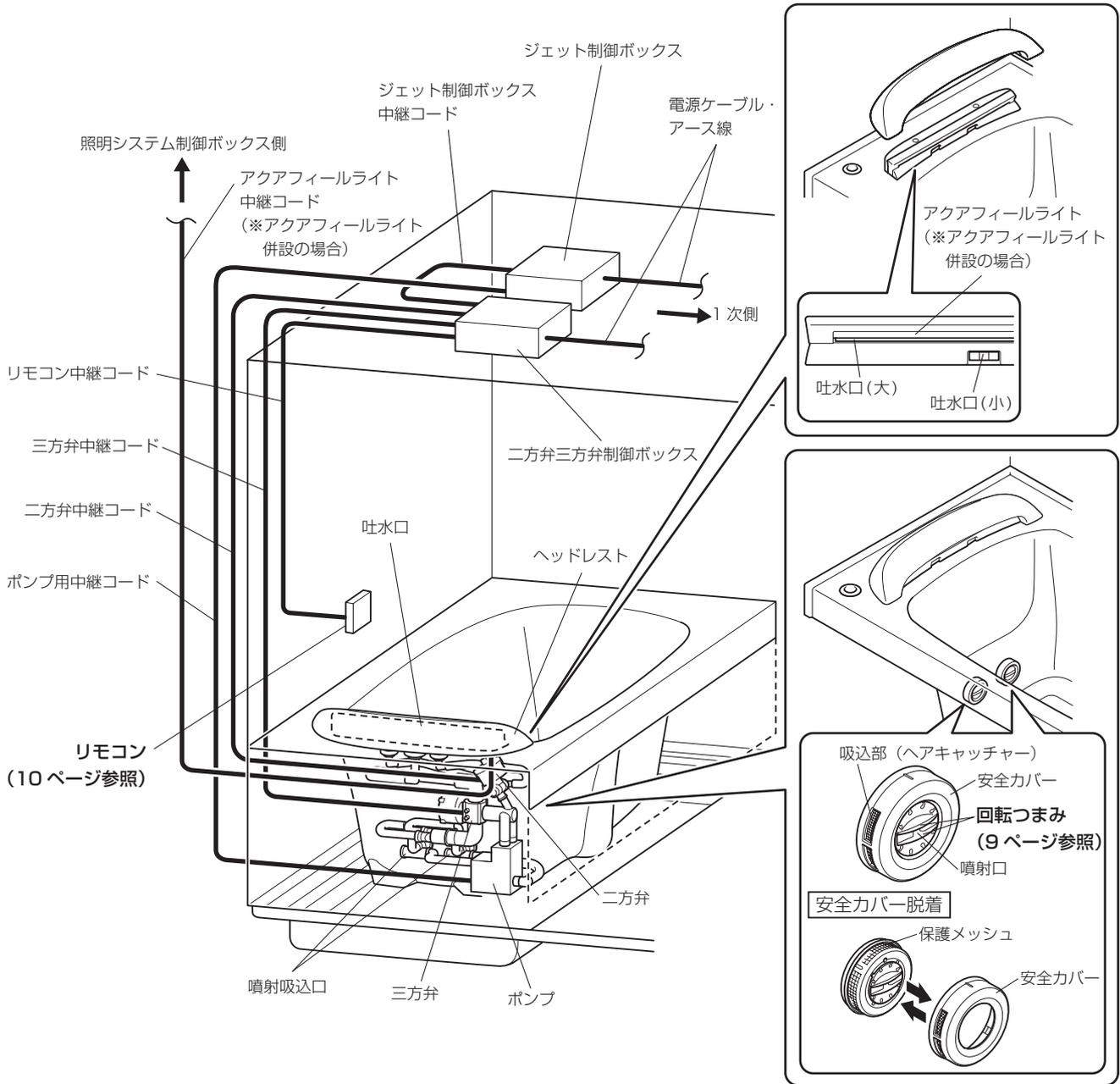
腰まわりの吐水 (イメージ)

- 噴射口から噴射します。

各部のなまえ

●循環ポンプにより浴槽内のお湯を循環させます。

各部のなまえ



※アクアフィールライトが併設されない場合は、アクアフィールライトとアクアフィールライト中継コードがありません。

※図は商品の例示であり、実際の商品と異なる場合があります。

※お客さまに予告なく設計変更する場合があります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

※ 温水器・追いだき給湯器・風呂釜・風呂フタ等付帯する機器や部品を使用する場合は各々の機器や部品の取扱説明書および本体の注意表示にそって使用してください。

表示マーク・絵表示について

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。



警告

「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」



注意

「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



「注意しなさい！」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)



「分解してはいけません！」



「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

警告

浴槽内にもぐらないで！！

浴槽内にもぐらないでください。

※ 毛髪や身体が、ノズルや噴射口に引っかかったり、運転中に吸込口へ吸い寄せられたりして、**おぼれたりケガをする恐れ**があります。

※ 目や耳に水流を直接当てると**炎症をおこしたり、目に異物が混入した場合は、失明する恐れ**があります。



「腰ほぐし湯」の回転操作について

毛髪などの引っかかるものが周りにある状態で、「腰ほぐし湯」の回転操作を行わないでください。

※ **おぼれたりケガをする恐れ**があります。

付け爪をしていたり、爪が長い場合、爪に無理な力が加わる状態で操作を行わないでください。

※ **ケガをする恐れ**があります。



⚠ 警告

ふさがないで！！

使用するときには吸込口や噴射口をふさがないでください。

※おぼれたりケガをする恐れがあります。



吐水を飲まないで！！

「肩湯」、「肩ほぐし湯」運転中に吐水を飲まないでください。

※上水ではありません。



次の方は使用しないで！！

次の方はアクアフィールを使用しないでください。

- 心臓疾患のある方や持病のある方
- 高血圧の方
- 妊娠されている方
- 泥酔者

※身体に異常を起こす恐れがあります。

※持病のある方や高血圧の方は医師と相談し指導に従ってください。



外したまま使用しないで！！

安全カバー（ヘアキャッチャー付）が外れたり破損したままで使用しないでください。

※毛髪や身体の一部が吸い込まれて、おぼれたりケガをする恐れがあります。



お子さまだけで運転しないで！！

お子さまだけで入浴中の場合は運転させないでください。

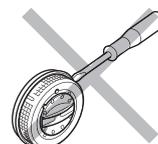
※毛髪や身体の一部が吸い込まれて、おぼれたりケガをする恐れがあります。



保護メッシュについて

安全カバーの奥にある保護メッシュは回転できますが、取り外すことはできませんので、無理に外したり分解しないでください。

※毛髪や身体の一部が吸い込まれて、おぼれたりケガをする恐れがあります。



保護メッシュが外れたり破損したままで使用しないでください。

※毛髪や身体の一部が吸い込まれて、おぼれたりケガをする恐れがあります。

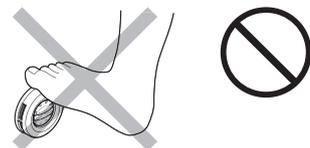


⚠ 警告

安全カバーについて

安全カバー（ヘアキャッチャー付）に足をかけたり、けったりしないでください。また安全カバーを回して遊ばないでください。

※安全カバーが外れたり、破損してケガをする恐れがあります。
破損した場合は、お求めの取扱店にてお買い上げください。



安全カバーは万一の時を考慮し外れやすくなっています。「腰ほぐし湯」使用中に安全カバーが外れた場合は、必ずアクアフィールを停止した状態ではめ直してください。

※毛髪や身体が吸い寄せられ、おぼれたりケガをする恐れがあります。



浴槽について

風呂フタを設置する場合は、風呂フタの上には絶対に乗ったり、手をついたりしないでください。

※おぼれたり、ケガやヤケドをする恐れがあります。



浴槽に飛び降りたりして、無理な力を加えないでください。

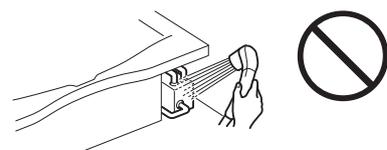
※浴槽が破損して、ケガをしたり、漏水する恐れがあります。



ポンプについて

エプロンを外してポンプ部に水をかけたり、布でふく等のお手入れはしないでください。

※ケガをしたり、故障する恐れがあります。



運転中や運転直後にエプロンを外してポンプに触らないでください。

※ポンプの発熱でケガやヤケドをする恐れがあります。



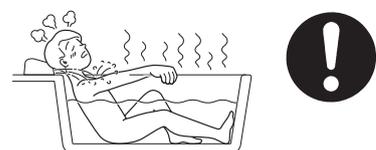
⚠ 注意

ご入浴中の注意

アクアフィールの使用時間は慣れるまで、2～3分間程度にしてください。

また慣れても、10分程度にとどめてください。

※長時間使用すると、心臓に負担をかける恐れがあります。



安全上のご注意（必ずお守りください）

使用時のご注意

故障をおこさないためにお守りください

浴槽浄化保温機について

浴槽浄化保温機（24時間バス）に該当する機器は使用しないでください。

※機能部や配管の寿命を損なう恐れがあります。

リモコンについて

リモコンに無理な力を加えたり、硬いものをぶつける等の強い衝撃を与えないでください。

※リモコンが破損しケガをしたり、リモコンが故障する恐れがあります。

金属類を放置しないで！！

ヘアピン等さびやすいものを放置しないでください。

※サビが付着して取れなくなる（もらいサビ）原因となります。

火を近づけないで！！

タバコ等の火気を近づけないでください。

※コゲ跡が付いたり、変色する原因となります。

浴槽のお湯は毎日交換

快適に入浴するために、お湯は毎日入れ替えてください。

※お湯を抜かない状態が長く続いた場合、配管内部に湯アカが発生し、吐水や噴流と一緒に汚れが出てくる場合があります。

ヘアキャッチャーのお手入れについて

安全カバーのヘアキャッチャーは週に1～2回程度、歯ブラシ等で糸くず、毛髪等を取り除いてください。

※ヘアキャッチャーが詰まると保護装置が作動しアクアフィールが停止したり、機能部が故障する恐れがあります。



洗剤等の使用について

浴室で使用する洗剤、殺虫剤、カビ取り剤、その他薬品類は、容器等に記載の注意表示に従って正しく使用してください。

※使い方を誤ると人体に悪影響を及ぼしたり、漏水や故障の原因になることがあります。

おそうじのときは！！

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸、アンモニア、苛性ソーダ等の薬品は使用しないでください。

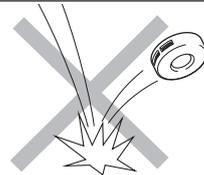
※キズ、変色、破損等の原因となります。

また、サンドペーパーやタワシの使用も光沢を失わせキズをつけるのでおやめください。



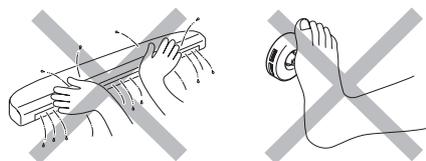
安全カバーを落とさないで！！

安全カバーを落したり、踏んだりしないでください。
 ※安全カバーが破損して正規に取り付かなくなる恐れがあります。



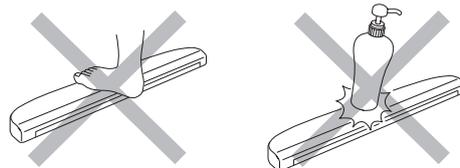
手や足でふさいだり、指を入れないで！！

使用するときは吸込口及び吐水口、また噴射口を手や足やタオルなどでふさいだり、指を入れないでください。
 ※ケガをしたり、故障する恐れがあります。
 また、ポンプが停止したり、異音を発生する恐れがあります。



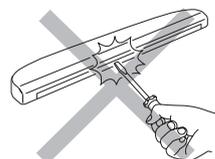
吐水口の上に乗ったり、衝撃を与えたりしないで！！

アクアフィールの吐水口の上に乗ったり、衝撃を与えたりしないでください。
 ※ケガをしたり、故障する恐れがあります。



吐水口を分解したり、ものを差しこんだりしないで！！

アクアフィールの吐水口を分解しないでください。
 ※付属のヘラ以外は使用しないでください。
 吐水口が開いて正常に吐水されなくなる恐れがあります。



入浴剤等について

- ・水道水以外は使用しないでください。（水道水とは水道事業体が供給する上水をいいます。）
- ・硫黄系、酸（炭酸系等）・アルカリ系の入浴剤、溶剤、オイル、アルコールを含む液体入浴剤、粉末でお湯に溶けにくい入浴剤は使用しないでください。

※浴槽表面の変色や機能部の故障の原因となります。



入浴石けんを使っているときは、運転をしないでください。
 ※多量の泡が発生し、ポンプ内に泡が残ることがあります。



みかんやレモン等を浮かべて運転をしないでください。
 ※吸込口にみかんやレモン等が詰まり、故障の原因となります。

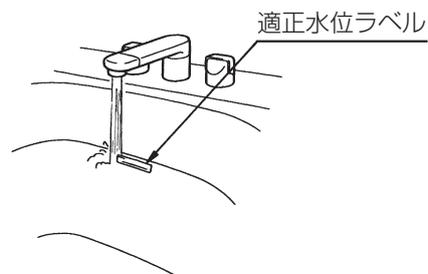


ご使用方法

浴槽について

浴槽への給湯

- ①排水栓を閉じます。
- ②浴槽内に張ってある適正水位ラベル以上にお湯を入れます。
 - ※ 噴射口より低い水位で運転した場合、噴射口から湯が飛散する場合があります。
 - ※ 吸込口より低い水位で運転した場合はポンプの空運転防止装置が働き、リモコンを押してもいったんはポンプが運転しますが、約5秒で自動的に停止します。



⚠ 注意

- ※ 45℃以上のお湯を入れないでください。
機器の故障の原因となります。
- ※ 追いだき付の場合は、沸かしすぎないようにしてください。
機器の故障の原因となります。

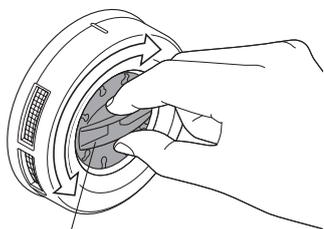
👉 ワンポイント

アクアフィール使用時は噴流および吐水が身体に直接当たり、身体を芯から温める効果がありますので、湯温は少し低目が適当です。

噴射口について

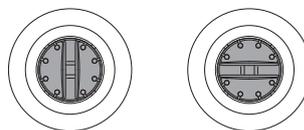
「腰ほぐし湯」の回転操作

噴射方向を調整することができます。
回転つまみを回転させお好みの角度でお楽しみください。



回転つまみ

※ 噴射口は360°回転可能です。



⚠ 警告

- 毛髪などの引っかかるものが周りにある状態で、回転操作を行わないでください。
※おぼれたりケガをする恐れがあります。
付け爪をしていたり、爪が長い場合、爪に無理な力が加わる状態で操作を行わないでください。
※ケガをする恐れがあります。

リモコンについて

リモコンの操作

リモコンの **入/切** ボタンを押してください。

- **入/切** ボタンを押すと、位置の腰のランプが点灯し、「腰ほぐし湯」で運転を開始します。
- **入/切** ボタンをもう1度押すと運転を停止します。

噴流または吐水の強さを選択してください。

- **つよさ** ボタンを押すと、噴流「腰ほぐし湯」および吐水「肩湯」、「肩ほぐし湯」の強さが、
 強→中→弱の順番で切り替わります。
- 最初は強運転になるように設定されています。
 - ・ 強のランプが点灯 …………… 強い噴流・吐水
 - ・ 強と弱の間のランプが点灯 ……… 中程度の噴流・吐水
 - ・ 弱のランプが点灯 …………… 弱い噴流・吐水



噴流または吐水の位置を選択してください。

- **位置** ボタンを押すと、噴流「腰ほぐし湯」および吐水「肩湯」、「肩ほぐし湯」が、
 「腰ほぐし湯」→「肩湯」→「肩ほぐし湯」の順番で切り替わります。
- 最初は「腰ほぐし湯」になるように設定されています。
 - ・ 腰のランプが点灯 …………… 「腰ほぐし湯」
 - ・ 肩のランプが1箇所点灯 …………… 「肩湯」
 - ・ 肩のランプが2箇所点灯 …………… 「肩ほぐし湯」

※ 停止忘れ防止のためタイマーが内蔵されており、15分後自動的に停止します。続けて使用する場合は、再度 **入/切** ボタンを押してください。

※ 機能切替中は、アクアフィールの運転状態に応じたランプが点滅します。しばらくお待ちください。

ワンポイント

- 運転開始時には、内部の残水が排出されるため初期に冷たい水が出る場合があります。
- 入浴姿勢によっては、吐水や噴流が弱くなる場合がありますが、姿勢を変えると元に戻ります。
- 万一ポンプが停止した場合は、ランプが点滅します。 **入/切** ボタンを押してランプを消し、もう1度 **入/切** ボタンを押して再運転してください。

お手入れ方法



お手入れ動画のご案内

アクアフィール・ジェットバスのお手入れ動画をご用意しています。
右のQRコードか、下記のURLからアクセスしてください。

<https://biz-lixil.com/tv/play.php?id=6140685955001>

- ※ 1 通信料はお客様のご負担となります。
- ※ 2 携帯電話の機種によっては、動画を再生できない場合があります。



⚠ 注意

吸込口および吐水口のお手入れをする場合は必ずリモコンスイッチを切にしてから行ってください。
※ケガをしたり故障する恐れがあります。

日頃のお手入れ

吐水口のお手入れ

吐水口にゴミや異物が詰まった場合、吐水が乱れることがあります。

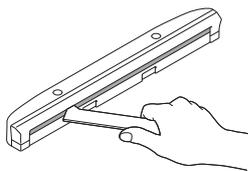
月に一回程度のお手入れをおすすめします。

※お手入れの際は、必ず運転を停止してください。

●吐水口（大）のお手入れ

付属のお手入れ用のヘラを使用して清掃してください。

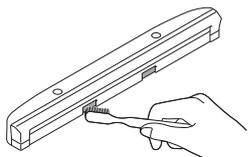
※付属のお手入れヘラは、定期的にお手入れ頂くため、なくさないように保管ください。



●吐水口（小）のお手入れ

歯ブラシ等で詰まったゴミを取り除いてください。

※傷つけないように柔らかいブラシをご使用ください。



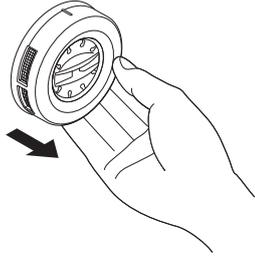
噴射吸込口のお手入れ（週 1～2 回行ってください）

毛髪、糸くず等が吸い込まれると、機能部の故障や能力低下の原因となります。

これを防ぐために安全カバーにヘアキャッチャーを装備しています。

ヘアキャッチャーに湯アカや髪の毛が詰まると保護装置が作動し停止したり、「腰ほぐし湯」の噴射能力が低下しますので、こまめに（週 1～2 回程度）取り外して掃除してください。

- ① 浴槽の水をすべて排水した後、安全カバーの下側を前に引っ張るように外します。



- ② ヘアキャッチャーの網目に詰まったゴミを歯ブラシ等で取り除きます。



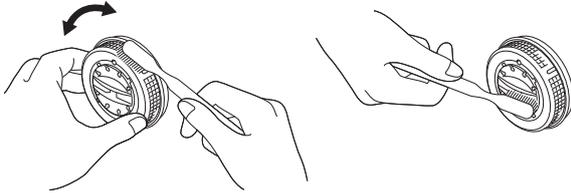
ワンポイント

メッシュ部分を傷つけないよう柔らかいブラシをご使用ください。

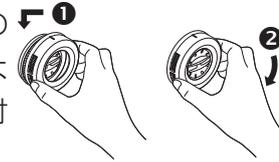
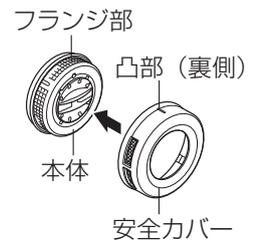
- ③ 保護メッシュや噴射口にゴミが詰まっている場合は、歯ブラシ等で取り除きます。

ワンポイント

保護メッシュや噴射口は回転できます。清掃しやすい位置に回してお手入れしてください。



- ④ 掃除が終わったら、安全カバーにある突起部を上にして、本体のフランジ部に安全カバーの上側の凸部を引っ掛けてから (①)、安全カバーの下側を押し当てるようにしっかり取り付けます (②)。



警告

保護メッシュは取り外すことはできませんので無理に外したり分解しないでください。

※毛髪や身体の一部が吸い込まれて、おぼれたりケガをする恐れがあります。



警告

安全カバーを外したままで使用しないでください。

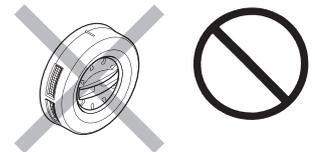
※毛髪や身体の一部が吸い込まれて、おぼれたりケガをする恐れがあります。



注意

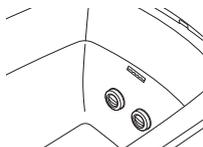
安全カバーにある突起部を上にご使用ください。

※ケガをしたり故障する恐れがあります。

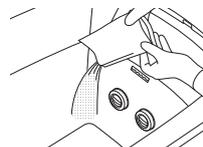


ポンプおよび、配管内部のお手入れ（月1回以上行ってください）

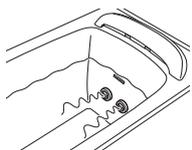
① 水位ラベル以上にお湯張りを行います。



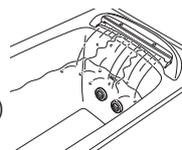
② 浴槽に風呂釜洗浄剤を投入します。



③ 「腰ほぐし湯」を運転させます。
（15分後に自動停止します）



④ 「肩ほぐし湯」を運転させます。
（15分後に自動停止します）



※③、④と同時に追い炊きを行うことで、追い炊き配管の洗浄もできます。

⑤ 約10分間放置し、排水を行います。

⑥ 水位ラベル以上にお湯張りを行い、すすぎのために③、④を再度行います。

⑦ 排水し、シャワーで浴槽を洗い流します。

⚠ 注意

- 洗浄後、お湯が白濁している場合や汚れが出てくる場合は再度すすぎを行ってください。
- 汚れがひどい場合は、風呂釜洗浄剤を使用するお手入れの頻度を多くしたり、洗浄回数を増やしてください。
- 風呂釜洗浄剤を使用するときは、必ずその取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。

長期間使用しない場合

長期間使用しない（長期不在）場合は浴槽内の水を抜いてください。
浴槽が変色したり、排水栓等の金具がさびる原因となります。

冬期凍結の恐れがある場合

暖かい地方でも、冬には機能部や配管中の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。凍結防止のために、以下の注意を守ってください。破損すると、高額な修理費がかかることがあります。

凍結防止のためにお守りください

凍結の恐れがあるときは次の要領で対応してください。

- 浴槽の水を全て排水してください。なお石油給湯付風呂釜、またはガス追いだき付給湯器等の強制循環式風呂釜をセットする場合は追いだき配管の水抜きを行うか、追いだき配管に取り付けられたヒーターの電源を入れてください。

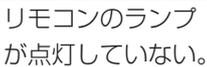
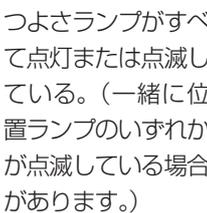
※浴槽の水を抜かないと機能部や浴槽部の配管の凍結により、破損し漏水する恐れがあります。なお追いだき配管が凍結する恐れがありますので、水抜きを行わない場合は、必ずヒーターが取り付けられていることをご確認ください。

取り付けしていない場合はお求めの取扱店に取付けをご依頼ください。

故障かな？と思ったら

使用中に止まってしまったり、普段と違った状態になったときは、ただちに使用をやめて、以下の項目をよく読み、十分な点検をしてください。

それでも故障と思われる場合、あるいは原因が分からない場合は、決してご自分で修理しようとなさらず、お求めの販売店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

現 象	原 因	処 置
   入/切 ボタンを押しても運転しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 元電源が来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 配電盤のブレーカーを確認してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 長時間連続運転をしていた。(制御ボックス内絶縁トランスの過熱防止装置がはたらいた。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 制御ボックス内絶縁トランスの温度が下がるまでしばらく(約30分間)お待ちください。
   入/切 ボタンを押しても運転しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ポンプモーターに異物が詰まり、運転できない。 ● 二方弁または三方弁に異物が詰まり、運転できない。 ● 制御ボックスが故障している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 入/切 ボタンを切って販売店または LIXIL 修理受付センターに修理を依頼してください。ランプが消えるまでに時間がかかる場合があります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴槽のお湯が少なすぎる。(空運転防止装置がはたらいています。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● お湯を適正水位ラベルの位置まで入れてください。(9ページ参照)
 入/切 ボタンを押してもすぐに止まる。	<ul style="list-style-type: none"> ● ポンプが噴出した気泡を吸い込んでいる。(空運転防止装置がはたらいています。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 入/切 ボタンを押してランプを消し、もう一度 入/切 ボタンを押して再運転してください。ランプが消えるまでに時間がかかる場合があります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴槽のお湯が少なすぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● お湯を適正水位ラベルまで入れてください。(9ページ参照)
噴流の音大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴槽のお湯が少なすぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● お湯を適正水位ラベルまで入れてください。(9ページ参照)
吐水が弱い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸込口が詰まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘアキャッチャーを「噴射吸込口のお手入れ」に従い掃除してください。(12ページ参照)
噴射口または、吐水口から異物が出たり、吐水が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 配管に湯アカがたまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 配管内部の洗浄を行ってください。(13ページ参照)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 吐水口にゴミが詰まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 吐水口部の清掃を付属の専用ヘラで行ってください。(11ページ参照)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「肩ほぐし湯」の吐水口(小)からの吐水は構造上乱れる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常ではありません。
浴室近くでヘアドライヤーや電気ストーブを「弱」で使用すると、浴室の天井裏から音がする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 制御ボックス内の絶縁トランスが磁力により振動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品の特性により発生する音です。異常ではありません。

故障かな？と思ったら

現 象	原 因	処 置
リモコンが操作できない。	● ボタンの表示部から離れた位置を押すと、受け付けなかったり、意図したボタンとは異なるボタンが押されることがあります。	● ボタンの表示部付近を押してください。
他のリモコンの表示ランプと明るさや色が異なる。	● 部品のばらつきや経年変化により明るさや色にバラツキが生じることがあります。	● 故障ではありません。
リモコンで機能切替を行ったり、一定期間使用しないと「ウィーン」と音がする。	● 二方弁または三方弁内部の機能部品が動いている事により発生する音です。(48時間以上使用しないと、固着防止の自動運転をおこないます。)	● 故障ではありません。
リモコンの操作後、噴流や吐水が切替わるまでに数秒かかる。	● 機能部品の制御に時間がかかります。ボタンを連打した時などはより時間がかかる可能性があります。	● 異常ではありません。
運転するが噴流が出なかったり、弱い。	● 噴射口が詰まっている。	● 噴射口部に異物がないか確認してください。
	● 吸込口が詰まっている。	● ヘアキャッチャーを「噴射吸込口のお手入れ」に従い掃除してください。(12ページ参照)
噴流の方向が変わっている。	● 噴射口部が回転している。	● 噴射口部を「腰ほぐし湯」の回転操作に従い調整してください。(9ページ参照)
「腰ほぐし湯」の回転操作が固い。	● 異物(毛髪や糸くずなど)が付着している。	● 噴射口を「噴射吸込口のお手入れ」に従い清掃してください。(12ページ参照)
	● 水垢汚れが固着している。	● 噴射吸込口を「ポンプおよび、配管内部のお手入れ」に従い清掃してください。(13ページ参照)
「腰ほぐし湯」の回転操作の固さが左右で異なる。	● 製造上、製品にばらつきが生じることがある。	● 故障ではありません。

アフターサービスについて

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな?と思ったら」(14ページ)を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- 取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- 浴室周辺で異臭や異常音がする場合は、機器スイッチおよび分電盤のブレーカーを切り、すみやかに修理を依頼してください。

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

- ※発火したり、異常作動してケガをする恐れがあります。
- ※異常のまま運転を続けると火災や漏電・漏水の原因になることがあります。



注意

別荘等長期間使用しない場合は分電盤のブレーカーを切っておいてください。



2. 保証と保証期間について

アクアフィールは、設置されているシステムバスルームの保証および保証期間内に基づいて保証されます。

3. 部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、この商品の製造打切後6ヶ年です。保有期間経過後の修理では、該当する部品がない場合がありますのでご承知願います。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 修理を依頼される時

修理を依頼される時は再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証期間内は保証の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料 + 出張料 + 部品代です。

連絡していただきたい内容

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. おなまえ・おところ・電話番号 | 4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく） |
| 2. 商品名・品番 | ← 14 ページの「故障かな?と思ったら」参照 |
| 3. 取付年月日 | 5. 訪問ご希望日 |

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

修理のご依頼は（取扱説明書の「アフターサービスについて」をお読みください。）

LIXIL 修理受付センター

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00 ~ 19:00 (365日受付)

交換部品のご案内

当社では、お客さまご自身で交換可能な部品を用意しております。

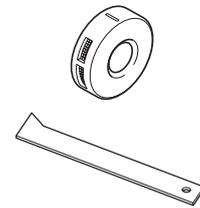
※価格はすべて税別価格です。

交換部品について

安全カバー（ヘアキャッチャー付）、お手入れ用ヘラ

ご使用の安全カバーが変形または破損した場合は、アクアフィールのご使用を中止してください。また、アクアフィールを安全により快適にご使用していただくためにも、下記部品をご購入し正規の状態でご使用ください。

交換部品名称	交換部品品番
安全カバー (SUS)	JC-FSC2/CH
吐水口お手入れ用ヘラ	JCQ-HL-1A-SET



交換部品の購入方法

上記の交換部品の名称と品番をご指定ください。

販売店等で購入される場合	宅配サービスをご利用される場合
当社商品の販売店でお求めください。	LIXIL パーツショップ水まわり部品販売窓口の宅配サービスにて承ります。 (宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。) ☎ 0120-126-015 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土、日、祝日、年末年始、夏期休暇を除く) ●インターネットで交換部品を購入する際は、次のLIXIL 公式サイトからお申込みください。 https://parts.lixil.co.jp/lixilps/shop/special.html?fkey=bathroom

仕 様	
	アクアフィール
品番	JP-7A2
ポンプ	ダイレクトドライブ型直流ブラシレス遠心ポンプ (1台)
吐水流量、噴射流量	「肩湯」：強 42/ 中 35/ 弱 28L/min 「肩ほぐし湯」：強 43/ 中 39/ 弱 36L/min (吐水 3 か所合計) 「腰ほぐし湯」：強 42/ 中 36/ 弱 30L/min (2 穴合計)
噴射口	背側 2 か所 (2 穴)
吐水口	浴槽上縁面
吸込口	噴射口一体型 (ヘアキャッチャー付)
定格電圧	AC100V
定格消費電力	強 203/ 中 148/ 弱 98W
運転電流	3.9A
周波数	50 / 60Hz (共用)
スイッチ	タッチスイッチ (浴室内壁付リモコン)
調節	強・中・弱
二方弁、三方弁	モーター駆動式ボール弁
安全装置 (ジェット制御ボックス)	絶縁トランス/モーター焼損防止装置/ 空運転防止装置/連続運転防止装置 (15 分タイマー)
材質	配管/ EPDM 噴射吸込口/ PP 樹脂、SUS

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは、お客さま相談センターへ

TEL ☎ 0120-179-400 FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00 ~ 18:00 土日・祝日 9:00 ~ 17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP 電話等ではご利用になれない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL.0562-40-4050 FAX.0562-40-4053

修理のご依頼は (取扱説明書の「アフターサービスについて」をお読みください。)

お求めの販売店または LIXIL 修理受付センター

TEL ☎ 0120-179-411 FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00 ~ 19:00 (365 日受付)

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>

- 当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報取扱いの詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス

<http://www.lixil.co.jp/>

取扱店

